



自然栽培の大豆を使った特製みそ 新たな特産品へ

みそやこうじの専門店である高澤醸造(羽咋市下曾祢町)が市内で初めてとなる無農薬・無肥料の自然栽培で育てた大豆と米を使ったみそ造りを行いました。大豆と米はそれぞれ90kgを使用。普段なら捨ててしまう大豆の煮汁もうま味として加え仕込みました。10月ごろには400kgの特製みそが完成します。

この特製みそは7月にオープンする「道の駅のと千里浜」での販売を予定しています。また首都圏の百貨店での販売やインターネット通販などを行い市内外にも広く発信していきます。

藤岡市の皆さんも、羽咋市の新しいおいしさをぜひ味わってみてください。



↑市内初となる自然栽培の大豆と米を原料にしたみそ造り。

声 (🗣️)

みなさんからの
声を紹介します。

寄せられた声

ご 当地婚姻届すてきです
ね。ふじの花言葉「決
して離れない」もとてもいい
と思います。結婚3年目の記
念に記入して、再び愛を誓い
合いたいと思います。(40代・
女性)

そんな風に使っていただけ
るとはうれしい限りです。仲
むつまじい姿が目に見えかぶ
うで、お二人の絆が一段と深
まることを願っています。

河

津桜の咲く季節になる
と、病の子に見せたく
てふじの咲く丘を訪れます。
今では車いす用のスロープも
整備され、桜を間近で見ること
ができるようになりました。
いつも感動と元気をもらって
います。(70代・女性)

小さな春の息吹に親子で感
動できるような、誰もが幸せ
を実感できるまちづくりを目
指しています。これからも心
援をお願いします。

息

子2人が保育園に通い
始めました。元気に行っ
てきます」と手を振る姿に成
長を感じると同時に寂しさも
感じています。(30代・女性)
4月からは育休明けでお仕
事に復帰されるとのことです
が、お休みの時はたくさん遊
んであげてくださいね。

先

月の「藤岡元氣人」で
母校の中学生が紹介さ
れていて元気をもらいました。
私も料理教室にでも通って
よゆかな。(30代・女性)
ありがとうございます。こ
れからも皆を元気にしてくれ
る「元氣人」を紹介してい
たいと思います。

このほか12通のお便りをい
ただきありがとうございます。
内容は紙面の都合上要約
させていただくことがあります
のでご了承ください。

プレゼント

皆さんの声を募集します。本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。「まちの声」で紹介いたします。

※個別の回答はしません

応募・問い合わせ ハガキかメールに住所、氏名、性別、年齢、電話番号、まちの声を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報広聴係「まちの声」応募係・✉hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

お便りをくれた人の中から仙台苑より生ハンバーグ「樺」2個セットを4人にプレゼント。応募締切は4月14日(金)当日消印有効です。

※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送をもってかえさせていただきます



生ハンバーグ「樺」

和牛本来の甘みと食感を引き出したハンバーグです。

オーナー自ら仙台に買い付けに行くこだわりの和牛を使用しています。ランチも毎日営業しています。

仙台苑

藤岡市藤岡912-1 ☎④8929 定休日なし
営業時間/午前11時30分～午後3時 ※ラストオーダーは午後5時～10時(土日祝は10時30分まで) 閉店時間の30分前

プレゼントの提供者を募集しています。
秘書課広報広聴係☎④2208までご連絡ください。

編集後記

よ りよいまちづくりに向けて新たな一年がスタートしました。市民協働の第一歩は情報の共有化。さまざまな形で皆さんに情報をお届けしていきます。わが家では息子が一人暮らしを開始。心配です。(高橋)

先 月の石油王一団の来日、チャンス!と思いました。彼らは「脱石油」の経済政策を進めているとか。そうですね、私たちが化石燃料頼りではいられません。自宅で太陽光発電、いかがでしょうか? (黒澤)

い よいよ桜の季節がやってきました。市内にはさまざまな桜の名所があります。自分だけの自慢の桜スポットを探してみてください。ちなみに私のおすすめは鮎川サイクリングロードの桜並木です。(上原)

暖 かさが増してくる今日この頃。私を含む花粉症の人にとってはつらい季節の到来です。市内各地ではたくさんのお客様を予定。花粉に負けず出掛けてみてください。(小島)

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～ No.13

平井金山城跡

～櫓門～

問い合わせ 文化財保護課(☎③5997)

平井金山城は地形が険しく守りに有利な要害山城として平井城を守るために築城されました。昭和62年にゴルフ場開発で発掘調査され、大手門・櫓門・曲輪・堀切などの跡が見つかりました。これらの遺構は「カロウト岩」と呼ばれる巨石がある尾根筋で確認されています。当時、山城を築城するには軍神としてあがめられる「神が宿る巨石」がある場所が選ばれたと考えられます。城郭遺構のうち櫓門は「八脚門」とも称され、

4条の溝もち柱構造(柱と柱の元に溝を掘り、木材を横に伏せて、柱同士をつないだ構造)でした。このような構造の建物は、上部の重い加重に耐えられるようになっており、城門の上部には多くの守備兵を留め置くなど、見張り機能をもった重層構造の建物であったと想定されます。さらに櫓門は攻めにくく守りやすいように、真つすぐ出入りするのではなく、L字状に出入りする枳形になっていました。

↑遺構が見つかった周辺の推定復元図。敵に攻め込まれづらい構造になっています。